



神戸大学医学部保健学科

神戸大学医学部保健学科の理念

医療・保健・福祉を通して、学問の発展、人類の健康、ひいては幸福に貢献するために、卓越した教育を行うこと



教育における力点

- 1. **専門職の協働**: 保健医療チームにおいて協働し、各専門職の独自性を発揮できる。
- 2. **リサーチマインド**: 科学的・論理的思考。創造的探求心、研究志向性をもつ。
- 3. **人間性**: 相互尊重を価値基盤とする医療人(Health Professionals)に成長できる。
- 4. **国際保健**: 世界における健康水準の格差を知り、問題意識をもち、貢献できる。
- 5. **災害保健**: 災害による健康への影響を知り、問題意識をもち、貢献できる。

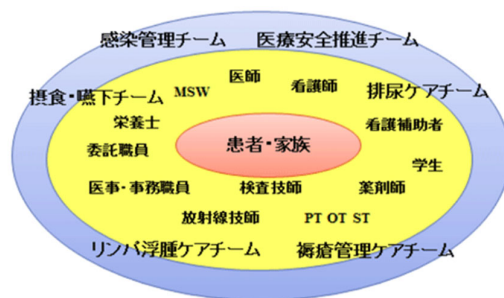
専攻	卒業者数	就職者数	県内就職					県外就職					進学者数	その他
			神大病院	国公立病院	公的機関	私立病院等	民間	国公立病院	公的機関	私立病院等	民間			
看護	78	58	14	12	2	2	0	15	2	9	2	17	3	
検査	37	11	0	1	0	2	0	2	1	5	0	26	0	
理学	22	6	0	0	1	2	0	0	0	1	2	16	0	
作業	20	14	0	2	0	3	0	0	1	4	4	2	4	

令和3年度卒業者の就職先等の状況(単位:人)

保健学科全体で取り組む協働カリキュラム

患者中心型医療推進のために多職種の医療専門職の協働作業として、医学科・保健学科学生を対象として、多職種医療人協働(Inter-Professional Work: IPW)を体系的に学習するカリキュラムを実施している。平成21年度からは神戸薬科大学とも連携し、「初期体験臨床実習」としてさらなる充実を図っている。

本取組は、文部科学省の平成19年度「特色ある大学支援プログラム」に保健学科が採択され、その後も継続している。



保健学科全体で取り組む海外提携大学との学生交流プログラム

インターネット回線を用いた
アイルランガ大学との国際カンファレンス



環太平洋諸国との連携による次世代グローバルヘルスリーダー育成プログラム
～ASEAN 諸国との連携・協働による教育プログラム～

(令和元年度実績)コロナ禍前

学部生 11人(チェンマイ大学 3人、FHヨアネウム応用科学大学 2人、
台北医科大学 2人、香港大学4名)

院生 5人(チェンマイ大学 1人、マヒドン大学 1人、ガジャマダ大学 1人、
チュラロンコン大学 1人、カンボジア公衆衛生研究所 1人)

看護学専攻



教育目標

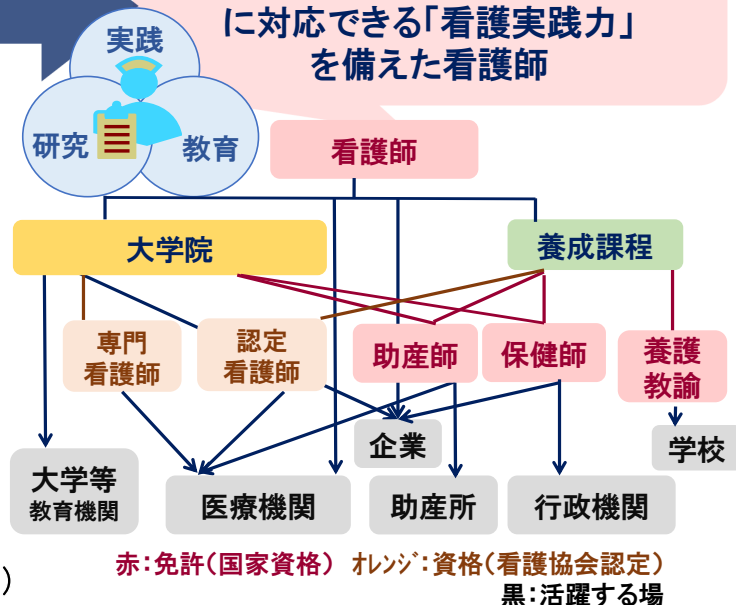
1. 個人・家族・地域・国際社会を対象とし、ヘルスプロモーションをめざした看護を展開できる
2. 科学的・論理的思考をもち、創造的探究心にもとづいた看護実践ができる
3. 保健医療チームにおいて協働し、看護の独自性が発揮できる
4. 研究の成果を看護実践に活用でき、研究への志向性をもつことができる
5. 看護専門職者として生涯にわたり成長し続けることができる



- ◆ 看護師免許取得に特化したカリキュラム
- ◆ (大学院修士課程で助産師・保健師免許取得)

卒業後の進路/キャリア

複雑・多様化する保健医療福祉
に対応できる「看護実践力」
を備えた看護師



検査技術科学専攻の教育目標

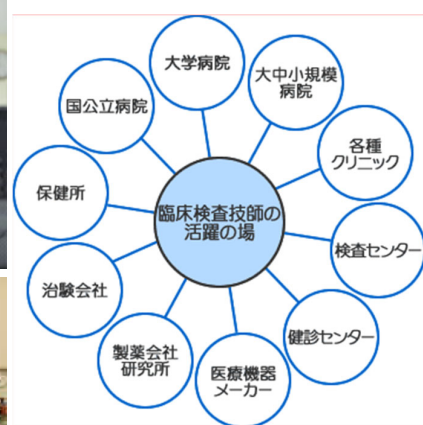
1. より高度の専門的知識と検査技術を有する人材の育成
2. 第一線で活躍する研究・教育者の育成
3. 高度化・多様化する医療技術分野に柔軟に対応できる人材の育成
4. 人間の生命の尊厳という倫理観を持ち、調和のとれた人材の育成
5. 技術及び機器の研究開発に対応できる人材の育成
6. 国際学術交流に貢献できる人材の育成

卒業生の将来像

検体検査



生理検査

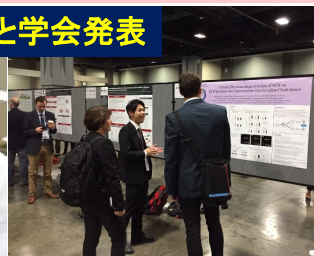


病院検査部、製薬等一般企業、大学等研究職など、多彩な進路

附属病院検査部



研究活動と学会発表



理学療法学専攻の教育目標

1. 高度な理学療法の理論と技術を修得し、実践できる
2. 対象者を生活機能から見る視点を修得することができる
3. 対象者や他専門職と相互に信頼し、良好な人間関係を築き上げることができる
4. 科学的視点から思考し、臨床に即した研究の志を持つことができる

理学療法士の役割

運動療法による正しい動きの指導
「立つ」「歩く」「起き上がる」などの基本動作能力獲得

マッサージ・温熱等の物理療法
住宅改修・福祉機器などの生活自立サポート

障がいと理学療法



スポーツ損傷リハビリや障がい者スポーツの援助



スポーツと理学療法



障がい者スポーツと理学療法

災害と理学療法



障がい児・者への関わり

災害時の被災地にボランティアを派遣し、生活不活発の改善や環境整備を行います

作業療法学専攻の教育目標

1. 高度な専門的知識と技術を有した人材を育成する
2. コーディネート能力を有した人材を育成する
3. 優れた教育能力を有する人材を育成する
4. 世界に通用する学際的な研究ができる人材を育成する

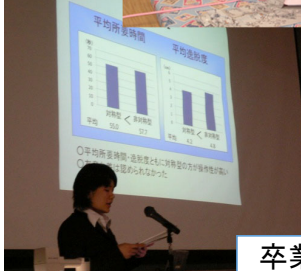
生活活動支援



非利き手
トレーニング



留学生との交流



卒業研究

- ・ 障害のある方の生活活動を医学的・リハビリテーションの視点から支援します
- ・ 小児から高齢者まで全ての年齢層の方を対象とします
- ・ 国際交流科目を設置し、海外の提携校との学生派遣と受け入れを実施しています
- ・ 医療、保健、福祉、教育、行政、司法など社会のいろいろなシーンで活躍しています



神戸大学医学部保健学科の入試



■アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)及び求める学生像

保健学は、心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。神戸大学医学部保健学科は「**真摯・自由・協同**」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

- 【**人間性**】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【**創造性**】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【**国際性**】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【**専門性**】高い倫理観と科学的視点を持ち、医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け、将来、それぞれの専門領域における指導者として、国際的に活躍するべく努力する学生

2023年度入試の種類と入学定員 (募集人員)

学部	学科等		入学定員	募集人員							
				一般入試		特別入試					編入学・ 学士入 学試験
				前期 日程	後期 日程	アドミッション・ オフィス入試 「志」入 試	推 薦	社会人	外国人		
医学部	保健学科	看護学専攻	80	70	6	－	4	－	若干名	若干名	×
		検査技術科学専攻	40	28	10		2		若干名		×
		理学療法学専攻	20	15	3		2	若干名	×		
		作業療法学専攻	20	15	－		2	3	若干名		×
		小 計	160	128	19		10	3	若干名		×



「志」入試（看護学専攻） 定員4名



第1次選抜合格発表時

プレゼンテーション課題・発表資料書式の提示
(保健・医療・福祉に関する課題)

【 評価要素 】

最終選抜試験

第1次選抜試験: 600点

発表資料を用いたプレゼンテーション(15分程度)
発表内容に関する口頭試問(15分程度)

思考力 判断力
表現力

主体性

150点

個人面接(20分程度)

志望理由・入学後の修学計画等

判断力・表現力

主体性・協働性

看護学専攻への適切性

150点



「志」入試（検査技術科学専攻） 定員2名



第1次選抜試験

書類審査 100点
模擬講義・レポート(理系) 150点
総合問題(理系) 350点



第1次選抜試験:600点
最終選抜試験:600点

最終選抜試験

- 1. 課題提示・プレゼンテーション・口頭試問 400点**
医療に関する課題を当日に提示し、指定された書式にて作成した資料をもとに10分～15分程度のプレゼンテーションを行った後、質疑応答を行います。
(1) 課題提示・発表資料作成 (9:30～10:30)
(2) プレゼンテーション・口頭試問 (10:50～12:50)

- 2. 面接 (13:40～15:00) 200点**
15分程度の個人面接で、提出書類を参考に、「医療・臨床検査」に関する関心や考え方、志望理由、入学後の修学計画について質疑応答を行います。

【評価要素】

入学後に必要な、「理解力」「問題発見力」「問題解決力」「表現力」「判断力」「志望専攻への適正」を評価します。

「意欲」「積極性」「理解力」「判断力」「表現力」「協調性」「志望専攻への適正」を評価します。



「志」入試（理学療法学専攻） 定員2名



第1次選抜試験

「書類審査」「模擬講義・レポート(理系)」
「総合問題(理系)」

第1次選抜合格者



最終選抜試験

個人面接(20分程度)
志望理由・入学後の修学計画・卒業研究等

【評価要素】

志望動機・
将来の方向性

理解力・表現力

主体性・協調性

理学療法士
としての資質

第1次選抜試験: 600点
最終選抜試験: 600点
合計: 1200点



「志」入試（作業療法学専攻）定員2名



第1次選抜合格発表時

「書類審査」「模擬講義・レポート(理系)」

「総合問題(理系)」

【評価要素】

最終選抜試験

第1次選抜試験:600点

模擬実習:課題(物を作る、ゲームをするなど)と
作業課題後の質疑応答
(60分程度)

主体性・協働性

知識・技能

300点

個人面接(20分程度)

志望理由・入学後の修学計画等

知識・技能

思考力・判断力・表現力

主体性

300点

作業療法学専攻は、**学校推薦型選抜**を行います＊



学校推薦型選抜（作業療法学専攻）定員3名



第1次選抜

11月
初旬

書類審査

100点

(調査書、志望理由書、活動報告書、推薦書)

第2次選抜

12月
初旬

面接・口頭試問

100点

最終選抜

1月
中旬

大学入試共通テスト(3教科)

300点

学校長からの推薦があり、
作業療法を学ぶことで
人の幸福と社会福祉の
向上に貢献したいと思う
学生を求めます

令和5年2月8日 発表予定

＊ 作業療法学専攻は後期日程入試は実施しません